



史蹟史料部

2024 年 9 月 20 日

#58

日本人墓地公園 ニュースレター

西有寺開山記念法要

5 月 29 日（水）、日本より曹洞宗神奈川県の僧侶 26 名がお越しください、日本人墓地御堂にて開山記念法要並びに大施食会（供養）法要が行われました。

2019 年までは毎年 6 月に法要を行われていましたが、新型コロナウイルス流行を経て、5 年ぶりの開催となりました。

今回は日本人墓地公園御堂と曹洞宗釋教山西有寺の歴史をご紹介しますとともに、法要の様子をレポートします。



日本人墓地公園にある御堂については、[ニュースレター#3](#)でご紹介したとおり、曹洞宗の釋教山西有寺と深い関係があります。初代を独力で建立し、この墓地に草庵を結んだ釋種煤仙和尚については、[ニュースレター#19](#)でご紹介しました。



現在の御堂は三代目の建物で、初代は墓地公園に眠る煤仙和尚が築き、二代目は大使館と日本人会の協力により再建され、三代目は1986（昭和61）年に曹洞宗神奈川県西有寺会の手で新たに建て直され、日本人会に寄進されました。

そのご縁で、毎年この時期に法要が行われています。御堂の左前には記念碑もあり、三代目御堂建立の縁起文が記されています。

釋教山再興記念碑

明治二十二年当地に日本人墓地が新設され翌年釋種煤仙士が釋教山西有寺を開設し西有穆山（にしありぼくざん）禪師を勧請開山に仰ぎ明治四十四年開堂落慶式を挙げたが第二次大戦が勃発し英国に接収された然るに墓地発財人の福田庫八氏及び納僧等が中心となり同寺を再興し本日曹洞宗管長 秦酸慧（はたえぎよく）王禪師を拝請し落慶入仏の式典を厳修した。

シンガポール釈山西有寺再興発願人

日本横浜市西有寺住職	横山敏明
同八戸市大慈寺住職	吉田隆悦
同相模そ市泉竜寺住職	砂越隆造
同福島市円通寺住職	吉田棟一

東京都北区西ヶ原三ノ二三

シンガポール日本人墓地墓地管財人 福田庫八



26名の僧侶による開山記念法要は朝9時半から始まりました。史蹟史料部も参列し、1911（明治44）年から続く御堂にて祈りが捧げられました。お暑い中シンガポールまでお越しいただき、ありがとうございました。

